

全国協議会 ニュース

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者:品川 保弘
http://www.marow.or.jp/
E-mail:office@marow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 566655

東京モーターショーで2664人が登録

去る10月25日から11月5日まで、千葉・幕張メッセで「2003東京モーターショー」が開催されたが、主催者の日本自動車工業会の呼びかけで、千葉骨髄バンク推進連絡会の協力により、毎日献血併行のドナー登録会が行われた。期間中2664人が骨髄バンクにドナー登録したが、これは千葉県の昨年1年間での全登録者数の4割近くがわずかに12日間登録したことになり、

大きな夢であり目標であった。こんな折、昨年、社団法人日本自動車工業会(自工会)よりメッセで開催するモーターショー(商用車)で骨髄バンクの普及啓発に協力したい旨のお話がありました。ありがたいお話で、色々検討しましたが諸条件が整わずこのときは、1日だけチラシ配りをさせて頂きました。このことが今年につながり、モーターショー(乗用車)開催の全期間(12日間)で念願の献血併行登録会が実施されました。自工会ご配慮の一般ボランティアと近隣の会の皆さんの応援で悩みの人手も何とか解決し、登録会が成功に終わり大変感謝しております。

千葉の会では、幕張メッセで毎年開催される「わくわく県民まつり」に県と共同でブースを出し、骨髄バンクの普及啓発の活動をしてきました。残念ながらお祭りは昨年より中断されていますが、人出の多いこの幕張メッセでドナー登録会を開催することが、当会の

「自工会・加藤和彦理事のお話」昨年のモーターショーから、貴会の骨髄バンク・ドナー登録推進活動にご協力させていただいています。特に今年の第37回東京モーターショー(乗用車・二輪車)は、142万人もの来場者を迎えるなかで、ちば国際コンベンションビュローのボランティアの応援もいただき、12日間の期間中にドナー登録された方が2664人に達したとのこと。貴会の活動に僅かなが



さんにとって不可欠であることを改めて理解していただく機会となりました。今後、本基金を継続していくためには、恒常的な基金の積み増しが重要となります。この支援事業の趣旨にご賛同いただける皆様方からの善意溢れるご寄付を心よりお待ちしております。

佐藤きち子患者支援基金、再開!

全国協議会が運営する「佐藤きち子患者支援基金」は原資の枯渇により、今年1月より給付停止の状態にありましたが、12月1日、申請の受付を再開いたします。早期の再開を求める声と共に、

たくさんの方の善意が寄せられ、約720万円の基金で再スタートとなりました。10月20日の記者会見の記事は全国紙や地方紙に掲載され、本基金の必要性を訴え、この支援事業は経済的に困りの患者

募金依頼報道についての要望書を提出

9月初めの新聞報道に端を発した、患者さんへの募金依頼問題に関する骨髄移植推進財団の見解をただす要望書を、10月25日、財団の高久理事長に手渡し、その場で意見交換をおこないました。この問題については、報道内容の事実確認を求める要望書を9月10日に送り、同18日付けで事実経過と募金に関する見解が財団より文書で示されました。その後、財団に

する不信感を募らせる報道のきっかけを作ったのは財団の某理事である可能性が疑われたことから、今回の要望書は改めて事実確認と、当該理事の適格性を問う内容としました。これに対し高久理事長からは、「常任理事のどなたかとともに、再度、調査・検討させていただきたい」との回答が口頭で寄せられました。

来年の箱根駅伝の普及啓発活動は全国協議会主催で!

お正月恒例の箱根駅伝での普及啓発は来年で3年連続3回目となります。

各大学が毎年熱い戦いを行っているなか、我々ボランティアも健闘しています。1回目の昨年は友人と2人で小田原中継所と宮ノ下で行い、今年の2回目は主催者である関東学生陸上競技連盟の協力を得て、全国協議会、東京の会、神奈川の会で活動資金を出し、全

国ボランティアの方の協力のもと大々的に行いました。そして来年、第80回を迎える伝統の箱根駅伝・記念大会でも関東学連の協力を得て、全国協議会を中心となり骨髄バンク普及啓発を行うこととなりました。既に日本テレビの担当者との会、趣旨を伝え協力をお願い致しました。今年以上の充実した啓発活動にしようとの準備を進めています。当日の活動に参加できるスタッフを募集しています。詳細は事務局へお問い合わせ下さい。全国の皆様の熱いご協力とお力添えを今回もよろしく願います。

大規模イベントでの登録会を! 東京モーターショーは入場料1200円の有料イベントです。当然そこに来る方々には興味があるものの、献血とか骨髄バンクへの登録に目的を持った方々ではありません。しかし、登録会を開催した一般対象の12日間約140万人の入場者があり、そのうちの1000人に2人の方が献血をし、そのうちの1割の方(入場者の5000人に1人)が骨髄バンクに登録したことになります。

- 部会活動提案について
- 佐藤きち子患者支援基金の再開に向けて
- 箱根駅伝PR活動について
- 第6回公開フォーラム準備状況
- 日赤献血ルーム調査について
- WEBサイト管理方法について
- ノバルティスファーマ(株)から小冊子作成にあたっての寄付について

(報告事項)

- 財団等各委員会報告
- 財団への要望書提出について
- 対面に関するアクションについて
- ブロックセミナー準備状況・開催状況について
- 情報誌8号編集進捗状況について
- 保険適用関連・請願署名進捗報告



これから見ると、有料のイベントであっても骨髄バンクへの登録のニーズはあり、規模が大きいイベントで献血、及び骨髄バンクへの併行登録会を開催すればかなりの数の登録者が見込めることとなります。ただ、東京モーターショーはあまりにも規模が大きく、会場が広く、見て歩くのに疲れ、献血等の会場が恰好の休憩場になっていたのかも知れませんが、そうすると次のターゲットは愛知博かなあ。

きち子基金 寄付受付口座

- 郵便振替
00160-8-39724
- 口座名義
佐藤きち子患者支援基金

2004年版 ハローキティ・シールカレンダー

来年の「キティのシールカレンダー」は一層可愛いデザインになりました。いつものように貼ってはがせるシールです。裏面でキティちゃんが骨髄バンクのPRをしています。

お友だちにも紹介して骨髄バンクの応援をして下さい。

【ご注文は】

地元の骨髄バンク支援団体・または「特定非営利活動法人全国骨髄バンク推進連絡協議会」へ
〒160-0005 東京都新宿区愛住町23-1
Woody21 9階

TEL 03-3356-8217
FAX 03-3356-8637

e-mail: office@marow.or.jp

※カレンダーと一緒に振込用紙を送ります。(料金後払い) 在庫無くなり次第終了。ご注文はお早めに!



第36回 理事会報告

11月16日
全国骨髄バンク推進連絡協議会
事務局

骨髄バンクNOW

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

● 推進月間ドナー登録は2790人。今年度初めて2000人を突破

10月の骨髄バンク推進月間は、推進月間の変更にもかかわらず、各地において数多くのイベントや、行政の持っている媒体を使ったPR活動が盛んに行われました。ご尽力をいただきました皆様から心からお礼を申し上げます。

各地の登録状況は、愛知県の20回を最高に、新潟10回、北海道、千葉の9回、福島、栃木、東京、京都の8回、沖縄7回、富山、岐阜、兵庫で6回のほか、各県で多数の登録会が開催されました。ショッピングセンターでの集団登録会開催は大きな実績をあげています。固定受付窓口の登録者は公共広告機構の新キャンペーンのスタートが7月と例年より早まり多数の媒体に露出したこと、政府広報を初めとする各地の複合的キャンペーンの結果対前年比130%となりました。なお、昨年の推進月間12月との比較では、献血併行の開催数は114%、登録者では110%と若干上回りましたが、集団登録会では登録会数、人数とも40%と低く、推

進月間としての登録者数は昨年をやや下回りました。今年は昨年まで推進月間だった12月に登録者の増加が見込めないことから、今年度の登録者数の増加が厳しい状況と言わざるを得ません。

● 近畿地区のドナーコーディネーターを募集します

財団では、この度コーディネーターの不足している近畿地区に限定して、養成研修会受講生を募集します。研修会終了後、適性が認められた方をコーディネーターとして認定し、委嘱します。応募条件は25~55歳までの健康な方、骨髄バンクの必要性を理解しており、近畿地区でコーディネーター業務に専念できる方(骨髄移植適応患者や家族、特定の患者の支援活動をしている方を除く)。お申し込みは、ハガキに住所、氏名、年齢と「コーディネーター養成研修会要項希望」とご記入の上、財団宛てにお送りください。応募締め切りは2004年1月15日です。

● 関東3地区のライオンズクラブで骨髄移植推進セミナーを開催

毎年恒例となっている首都圏のライオンズクラブの

皆さんによる「骨髄移植推進セミナー」が相次いで開催されています。

11月5日(水)、東京・四谷で東京(330-A)地区セミナーがメンバー約160名により開催されました。東京では、ライオンズクラブ会員でドナー登録説明員の資格を取得された方が40名を超えており、今後、説明員の組織化によりドナー登録会の自主的な企画開催が期待されています。

また、11月14日(金)横浜・みなとみらいにおいて神奈川(330-B)地区のメンバー約70名により骨髄移植推進セミナーが開催されました。なお、埼玉(330-C地区)は、来る12月5日(金)川越市ではじめての骨髄移植推進セミナーが開催される予定です。

● 学会で市民公開シンポジウム

12月19日(金)~20日(土)、パシフィコ横浜において、「日本造血細胞移植学会」が開催されます。会期中の20日、午後4時半~午後7時には「市民公開シンポジウム」が開催されます。

● 財団各委員会など開催予定 各委員会、常任理事会の傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局までお申込みください。

公開・非公開 開催予定
医療委員会 公開 12月20日(土) 18:00~21:00
造血細胞移植学会会場

● 日本骨髄バンクの現状(2003年10月末現在)

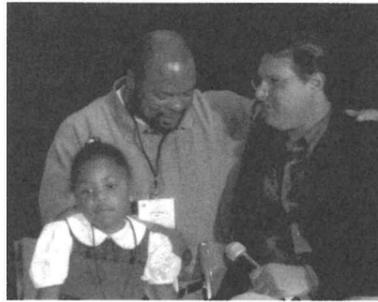
	10月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,790	177,739	223,823
患者登録者数	170	2,301	15,139
骨髄移植例数	85	-	5,201

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

NMDPに参加して

第16回NMDPの年次総会(11月13日から16日、ミネソタ州ミネアポリス)では、今年も患者とドナーの対面がありました。対面の始まる直前、実行委員の方がティッシュの箱を持って会場を回り始めました。いよいよ今から対面が始まるのだという雰囲気が漂います。対面に先立ち患者の子供の母親が話始めたので、もう会場ではすすり泣きの声があちこちで聞こえて来ます。

ドナーの方が会場の真中あたりから立ち上がりステージに登壇すると同時に、会場にいる約800人が総立ちになって大きな拍手が湧き上がりました。ステージでドナーと患者とその家族が抱き合いました(写真)。テレビカメラも来ています。しばらく沈黙が続きました。言葉にならない感激を会場にいる者全員で分かち合いました。このような雰囲気で行われてきたNMDPではドナーの側の心のケアが学問的に研究され、今回のワークショップやセミナーでも深く議論されています。日本ではまだ試験的な対面すら実現できてない状況ですが、情報公開やそのフォローに関してはかなり遅れをとっているのではないのでしょうか。



ブロックセミナー報告

●中四国ブロックセミナー(島根県仁多町)

10月12日、13日、中四国ブロックセミナーを開催させて頂きました。日程は12日18時交流会、13日9時12時研修会。6団体17名の参加者でした。

講師は、全国協議会の三田村真事務局長。保険適用について熱くもつたご講義をいただき、参加者からも活発な意見が交わされました。特に、短い研修時間を補うため、交流会後に設けられた予習会には、目をこすりながら皆熱心に耳を傾けていました。

また、最近活動に加わった方も

草深い奥出雲の地、会場の「骨髄バンク研修会」の看板を見て、「なんだい難しげなことやっちゃらいよ(なんだか難しそうなことしつらっしやるよ)」と話し合う地元の方、若干の普及啓発にもなった様です。

ご参加の皆様、ご遠路ご足労頂き有り難う御座いました。不行き届きのお詫びを申し上げ、御礼申し上げます。

(しまねの会・北川尚仁)

心からのご寄付をありがとうございました

10月21日～11月19日

株式会社タクティコレーション	現金	30,000円
ブルデンシャル生命保険株式会社	現金	50,000円
大塚啓子	現金	61,196円
中西健治	現金	5,000円
飯野マサ子	現金	10,000円
金剛 毅	現金	10,000円
鈴木純子	現金	2,680円
飯島孝枝	現金	1,000円
切明 隆	現金	5,000円
村上晴美	現金	1,840円
瑞浪結核ライオンズクラブ	現金	50,000円
三重県立伊勢高等学校生徒会保健委員	現金	11,080円
かごしま骨髄バンク推進連絡協議会	現金	10,000円
仲岡美智子	現金	3,770円
岡田 章	現金	2,000円
宮田 貴史	現金	3,000円
富山 茂房	現金	7,350円
中野義樹	現金	3,235円
品川保弘	現金	20,000円
白相浩二	現金	10,000円
堀江英二	現金	5,000円
花田学園祭実行委員会	現金	53,000円
匿名	現金	2,000円
匿名	現金	713円
匿名	現金	1,000円
●佐藤さち子患者支援基金		
古川洋一	現金	2,500円
切明 隆	現金	5,000円
高橋みどり	現金	50,000円
近藤敬子	現金	23,450円
中村 信	現金	30,000円
桑原雅樹	現金	3,000円
大塚利平	現金	3,000円
河合杜素子	現金	3,068円
土屋令子	現金	3,000円
寺田きよみ	現金	2,000円
三浦良太	現金	30,000円
小林智子	現金	2,000円
匿名	現金	5,000円
井上久仁子	現金	5,000円
岡田 章	現金	2,000円
八木橋吉雄	現金	6,000円
中 利夫	現金	10,000円
ニッタ株式会社奈良工場有志	現金	2,875円
アイケン工業株式会社大阪支店有志	現金	2,000円
山村詔一郎	現金	3,000円
牧野男	現金	3,500円
飯島孝枝	現金	1,000円
原 美加	現金	20,000円
齋藤雅子	現金	5,000円
匿名	現金	3,000円
村田夕子	現金	400,000円
堀江直子	現金	2,000円
高橋美幸	現金	30,000円
徳重タミ子	現金	3,000円
いわき骨髄バンクを支援する会	現金	300,000円
塚越友巳	現金	2,414円
つばさの会(広島)	現金	50,000円
●白血病患者支援基金・募金箱		
匿名	現金	10,000円
匿名	現金	10,000円
山形県民信用組合信友会	現金	15,800円
株式会社クスリのアオキこぼとの会	現金	72,721円
原田みさ子	現金	3,000円
ブックス大垣アンドウ	現金	6,872円
●あやちゃん基金		
匿名	現金	6,317円(敬称略)

各地のり 各たより

山形 ドナー登録・事前説明会の開催

米沢電線(株)で例年行われていた企業巡回献血時に、ドナー登録会を実施することになりました。これに合わせ、事前説明会を10月3日に本社、10月10日には事業所で2回に分けて実施し、約100名の参加者を得ました。11月10日の献血当日は12名が登録して下さりました(一週間前までに9名の予約)。

この分離方式はいくつかの利点を持っていてと考えられます。第一に事前に説明を聞いて、十分に理解、納得をした上で申込みができることでこれは重要な事だと思います。なぜなら、骨髄移植についての知識、どのようなことをするのか、痛いのとか、ほとんどの方が理解していないと思われるからです。第二は、従来から企業などで行われている献血時に、採血・問診のみで登録できるため、わざわざ私用外出・休暇を取らなくて済むことです。また、説明会に参加して頂くだけでも正しい理解が増え、30万人のドナー登録に繋がっていくものと考えています。

同社はこの機会に合わせて、事前の健康診断等を含めた骨髄提供にかかる特別休暇制度を設けました。これによってバリアーが一つ取り去られたものと思っております。

企業における分離式事前説明会の開催は、山形県では初めてということですが、複数のテレビ・新聞に比較的大きく報じられました。マスコミ各社のご協力に感謝しております。今後、献血併行型ドナー登録会、並びに事前説明会が県内に広く普及することを願っております。(溝口)

群馬 設立10周年・骨髄バンクシンポジウム開催

群馬県骨髄バンク推進連絡協議会は、11月16日県公社総合ビルにて、設立10周年記念シンポジウムを開催しました。記念式典に続きNHKプロジェクトX「決断命の一滴」のビデオ上映後、ビデオに出演された日本初の骨髄バンク誕生の立役者大谷貴子さん、日本初の非血縁者間骨髄移植第1号のドナー田中重勝さんと患者橋本和浩さんの3名による「トークショー」が開かれました。

骨髄バンク設立からの裏話が「既に時効ですから」と次々に披露され、田中、橋本両氏の対面場面の再現では、「9月」と「血液型はO型」と言うあうんの合言葉で本人を確認したそうです。

人間性溢れる3名の会話に会場は大いに盛り上がりました。また、神奈川在住の羽賀涼子さんが飛び



写真提供・山形新聞社



くても済むことです。また、説明会に参加して頂くだけでも正しい理解が増え、30万人のドナー登録に繋がっていくものと考えています。

同社はこの機会に合わせて、事前の健康診断等を含めた骨髄提供にかかる特別休暇制度を設けました。これによってバリアーが一つ取り去られたものと思っております。

企業における分離式事前説明会の開催は、山形県では初めてということですが、複数のテレビ・新聞に比較的大きく報じられました。マスコミ各社のご協力に感謝しております。今後、献血併行型ドナー登録会、並びに事前説明会が県内に広く普及することを願っております。(溝口)

石巻 好評だった 骨髄バンクの集い

宮城の会石巻支部設立10周年記念行事「骨髄バンクの集い」あふれあひコンサート」を11月11日に開催しました。第一部は、骨髄バンクについてのパネルディスカッションで医師、ドナー、移植経験者、コーディネーター、ボランティアの立場からわかりやすく説明してもらいました。第二部は、地元音楽グループ、隣のフォークバンド、最後は歌手のさとう宗幸さんがミニコンサートを行い、それぞれに会場と出演者が一緒になっ



骨髄バンクの集いあふれあひコンサート

て歌うコーナーがあつて楽しいひとときでした。大勢の方々に「第一部、第二部とも、とても良かったよ」と声をかけられました。

ロビーでは、静岡の山本多恵子さんの遺作集「おかあさんのゆめ」を展示。今回は一日だけの展示でしたが、今度はゆっくり見せてあげたいと思う作品でした。

いろいろな方々に支えられて10年、初心を忘れずにまた頑張ります。全国のみなさん閑古鳥が鳴く石巻にぜひ遊びに来て下さい。(小野)

宮崎 マローの旅立ち

10月20日に宮崎で行われた、ソニー生命MDRT研修会で、マロー1120匹の旅立ちがありました。

九州骨髄バンク推進連絡協議会のマスコット、手作りのクマのぬいぐるみ「マロー」に白血病に関する本を持たせ、里親さん(書籍代とマローの材料費として2000円を負担していただいた方)からお友達へ、そのお友達から見知らぬ人へと本を読み継いでいただき、旅をしてもらいます。

今回は青い空と青い海の宮崎から、120匹のマローが一斉に旅立ちました。このマロー達は、たくさんの方々に、たっぷりの愛情を注がれながら、命の大切さや骨髄バンクについてのメッセージを伝えてくれるでしょう。(中川)



マローの旅立ち



ピアニストの友人が白血病を発病したことがきっかけで、全国でチャリティコンサート活動を展開していらつしやる三重奏団の皆さんの心暖まるすばらしい演奏に心より感動しました。

ご参加いただいた皆さんの心の片すみに、このコンサートの感動と我々の骨髄バンクの活動のことが残ってもらえたらと祈願し、これからも骨髄バンクの発展のためにさらなる活動を展開していきたいかなければと思っております。また、このコンサートは、11月3日と4日は東京で、6日は福島、8日は埼玉でも開催されました。

(美濃加茂あじさいライオンズクラブ会長 渡辺泰弘)

折しも衆議院選挙にマスコミも市民の眼も向けられていた中、出席者は20名程と少人数ではありましたが、地元紙記者1名・県職員2名・市職員3名・産婦人科病院から1名の参加があり、さい帯血バンクについての理解は充分に得られました。野村氏の講演内容は、機会を見て産婦人科病院と出産可能な若いお母さん方へ伝えていきたいと思っております。

現在九州には、さい帯血バンクは福岡に1カ所しかありませんので、当面鹿児島県民が協力出来ることは、骨髄バンクへのドナー登録です。

翌3日には、昨年に続き「おはら祭り登録会」を行い、18名の登録をいただきました。

福岡 リボンの会 10周年の集い

10月18日、福岡市女性センターアミカスで「リボンの会10周年の集い」あなたの愛が命を救うをテーマにシンポジウムを開催しました。

会場には100名程が集まり、そこで初めて登録会を行い7名の方に登録していただき、受付では保険適用申請署名を行い、「親子さんの想い展」では、絵画と日記を展示しました。



リボンの会 10周年の集い

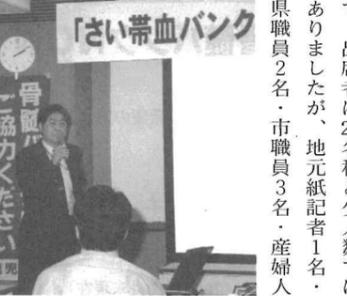
活動資金の援助をお願いします

銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754

特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会

岐阜 サント・フーリアン、岐阜で初コンサート

11月5日、美濃加茂市文化会館で、より多くの皆さんに骨髄バンクの活動を理解していただくため、サント・フーリアン・ピアノ三重奏団による骨髄バンクチャリティコンサートを開催致しました。どれくらいの方々が足を運んでく



さい帯血バンク

オープニングにジャズのコンサートを開き、メインで虎ノ門病院血液科部長・谷口修一先生、南熊本病院長・坂田浩章先生の基調講演。パネルディスカッションでは、移植5000例の記念にドナーさんへ感謝状贈呈を行いました。パネラーの皆さんの体験には、司会の筑紫野血液センター部長の徳永先生や、パネラーさんが胸をつまらせる場面もありました。どれも心に残ったメッセージを頂きました。心より感謝申し上げます。